

2022年9月9日

## 陸上自衛隊と米海兵隊との日米共同訓練(レゾリュート・ドラゴン)および オスプレイの飛行の中止を求めます

北海道民主医療機関連合会  
会長 小市健一

防衛省は、昨年に引き続き、10月1日～14日に道内で、陸上自衛隊と米海兵隊との日米共同訓練(レゾリュート・ドラゴン)を行うことを発表しました。

訓練には、陸自北部方面隊(総監部・札幌)を主体に自衛隊員約2100人、海兵隊約1400人、合計約3500人が参加します。沖縄の普天間などに所属するオスプレイも6機程度参加し、丘珠駐屯地を整備拠点とし、全道5カ所を拠点に人員と物資の輸送訓練を行う予定です。オスプレイの参加する訓練が、全道で広域に展開されるのは初めてのことです。

また、矢臼別演習場では、米軍の高機動ロケット砲システム「ハイマース」の実弾射撃訓練が計画されています。ハイマースは、ロシアの侵略を受けるウクライナに米国が6月以降供与しており、ロシア軍への攻撃に使用されています。

米中、米露の対立と緊張が高まる中で、日米が共同で訓練を行うことは、この対立に日本を巻き込むことになり、日本の安全保障に逆行します。そもそも日本国憲法は、武力による威嚇を禁じています。今回の共同訓練は憲法違反であり、認めることはできません。

ウクライナ危機を経験して世界が学んだことは、軍事同盟に頼り武力に武力で対抗しても平和を守れないことです。いま日本がすべきことは、対話と友好を基調とした平和外交に徹することです。

オスプレイはこれまでも事故を繰り返してきた欠陥機です。相次ぐ事故に米空軍は先月、オスプレイを全機地上待機させていました。安全性に重大な疑念のあるオスプレイが、飛行経路も明らかにせず、人口密集地である札幌を含め、全道の上空を飛行することは、道民のいのちを危険にさらします。

私たち医療、介護、福祉従事者は、道民のいのちを最優先し、憲法を守り生かす立場から、オスプレイの飛行と日米共同訓練の中止を強く求めます。

以上